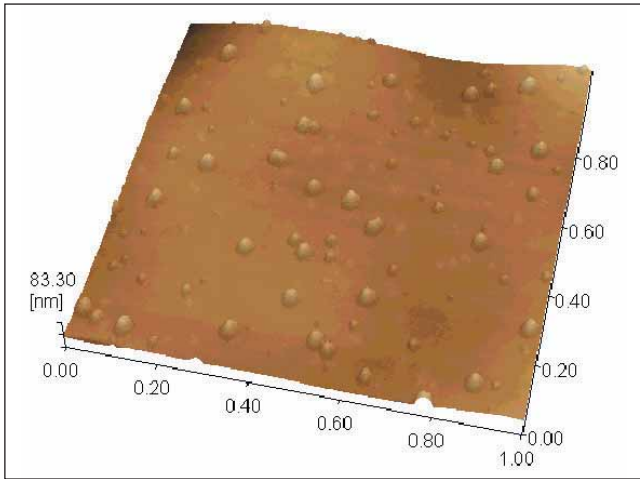


## フィルム表面の観察例



1000.00×1000.00[nm] Z-Max 83.30[nm]

Fig.1 三次元像

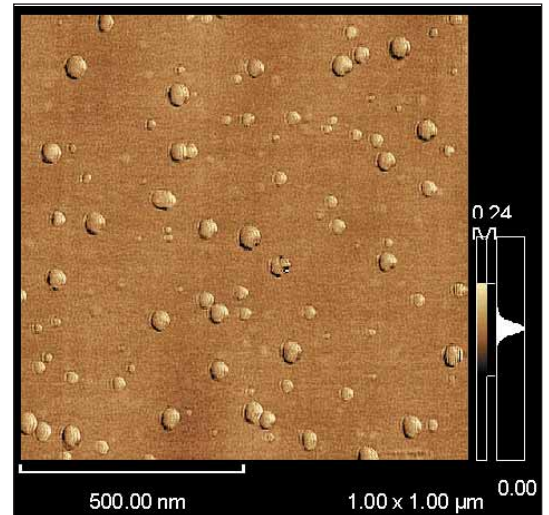


Fig.2 COS像

これはインスタントカメラフィルムのネガ表面です。SPM（走査型プローブ顕微鏡）により、大気中、無蒸着、非破壊で三次元形状が精密かつ容易に観察できます。表面上に10nm相当の粒子が確認できることから、SPMは驚異的な空間分解能を有していることが分かります（Fig.1）。

粘弾性測定システムにより、COS像\*（Fig.2）など物性を表わすデータを得ることができます。Fig.2では、粒子とその周囲部の物性の違いが画像化されています。

画像データを処理することにより三次元表示したり、断面形状（Table.1）から高低差を知ることができます。

このように、SPMは光学顕微鏡や電子顕微鏡では得られないデータを提供します。

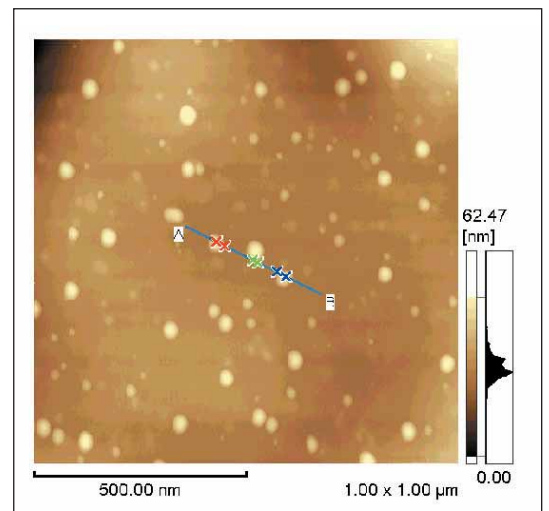
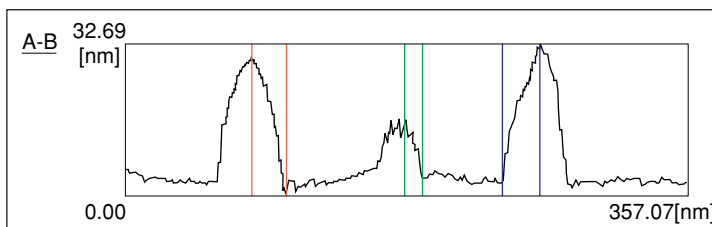


Fig.3 表面形状像



	距離[nm]	高さ[nm]	角度[°]
—	22.27	29.46	52.92
—	11.13	10.32	42.83
—	24.65	29.89	50.48

Table.1 断面形状

\* 資料番号 C147-0554 粘弾性測定Q&Aを参照ください。